

1. 議 事

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進行管理

第2回会議時の委員意見をもとに、事務局において作成した令和元年度総合評価(案)について、委員に意見を求めました。

<各事業に対する委員意見>

1. 子どものための教育・保育給付

事業名	子どものための教育・保育給付
第2回会議後 総合評価(案)	<p>・待機児童対策として、積極的な施設整備を進めたことにより、令和2年4月1日時点において5年連続待機児童ゼロを継続したことを高く評価する。今後も長期的な視点をもって計画的な施設整備を進めるとともに、多様な保育サービスの提供体制を整えることで、保護者の教育・保育ニーズに応えていくことが必要である。</p> <p>・引き続き、ニーズの把握を丁寧に行い、教育・保育の量の確保を進めるとともに、教育・保育の質の向上にも取り組み、保護者が安心して子どもを預けられ、また、子どもの健やかな発達につながるような施策の展開を希望する。</p>
委員意見	1 子どもも保護者も安心して過ごせるよう、また、教育・保育に携わる方も安心して勤められるように、よろしく願います。
	2 2018年問題、いわゆる少子化の影響で2018年から18歳人口が減少に転じる問題で、2022年卒業の大学生から減少することを指しています。短大、専門学校は2年前から始まっており、養成校の撤退が進んでいます。文科省によると、すでに小中学校の在学者数はピーク時の56%になっているそうで、今までは保育施設の増加で幼保は人材不足に陥っていましたが、さらに人口減という大きな人材不足の波がやってきます。採用競合が幼保だったが、これからは今まで以上に一般企業、大手企業が採用競合に台頭していきます。 総合評価(案)には「今後も長期的な視点をもって計画的な施設整備を進めるとともに、多様な保育サービスの提供を整えることで・・・」と記載されているが、長期的な視点と多様な保育サービスは、各施設が安定した人材確保ができてこそ対応できることであり、それが質の担保につながるものであると考えられる。こういう言い方をすれば語弊があるが、認可施設を増設した結果、人材不足が深刻な施設が保育サービス等対応しきれているのか疑問に思う。
	3 今現在70園位の保育施設があり、待機児童ゼロを維持している大和市ですが、多くなることで各園間の調整等難しさも出て来ているのではと危惧しています。地域ごとに拠点園をおいて連携を図り、お互い、より質の高い保育内容を作っていられるようにと願っています。
	4 教育・保育の質の向上のため、現場の職員の確保にも積極的に進めて欲しいです。
	5 事業自体は有益だと思います。広く認知拡大を図る工夫(関係機関へ積極的なPR)をして欲しい。
	6 待機児童数ゼロ、今後も継続を期待します。
	7 保護者のニーズに応えていくことも大切だが、それだけではなく「保護者の子育て力の成長」に繋げていくことも大切だと思う。

2. 地域子育て支援事業

事業名	①利用者支援事業
第2回会議後 総合評価(案)	<p>・相談体制が整うことにより、子育て家庭の保育ニーズに合った相談・助言が可能となっている。今後も利用者のニーズを把握しながら、様々な需要に適切に応えるよう、体制の充実に努められたい。</p> <p>・母子健康手帳の交付時にすべての妊婦と面接し、その後も継続的な支援を実施しており、子育て家庭に寄り添う事業として評価できる。引き続き事業の周知に努めるとともに、相談内容の分析などを通して、相談窓口の質的な向上を図る取り組みに期待したい。</p>
委員意見	1 今年度はコロナ禍の中子育ての難しさがあると感じる。
	2 引き続き、広く市民に知ってもらえるよう周知してください。
	3 引き続き、支援をお願いしたい。
	4 お母さん方の安心につながる取り組みを今後も期待します。
	5 第一子出産時このような事業はなく、自分から出向かないとなかなか相談したりできなかったもので、さらに充実し、周知が広がってほしい。

事業名	②地域子育て支援拠点事業	
第2回会議後 総合評価(案)	<p>・市内にバランス良く拠点を設置することにより、親子での居場所や相談場所を広く提供できている。新型コロナウイルス感染症への対策に十分留意しつつ継続的に居場所を提供するとともに、今後は配慮が必要な家庭の支援や地域との連携の充実なども含め、サービスの質的な向上に努められたい。</p> <p>・令和3年4月から開設予定の新たなこども一について、親子が身近な地域で相談・交流できる拠点としての役割を果たせるよう充実した運営を期待する。</p>	
委員意見	1	今年度はコロナ禍の中で、子育て支援事業が充分行う事が出来ない状態があった。こうした中でも工夫して支援を継続できることはやってきたことは評価したい。
	2	親子が身近な地域で相談できる拠点としての役割が大きい。積極的に進めて欲しい事業。
	3	新しくできる拠点に期待大。親も子も、大切な居場所となりますように。
	4	子どもの支援事業も多岐に亘るので、「ここだけ」で満足せずに他の事業所(民間)との横の連携も大切にして欲しい。
	5	お母さん方の安心につながる取り組みを今後も期待します。

事業名	③一時預かり事業	
第2回会議後 総合評価(案)	<p>・一時預かりの受け皿の確保やサービス提供体制を充実したことにより、計画値を上回る利用実績となった。今後も高いニーズが見込まれることから、更なる事業の周知を図るとともに、引き続き、幼稚園や保育所等にとって事業が実施しやすい環境の整備に努められたい。</p>	
委員意見	1	仕事による一時保育の利用は当然ですが、コロナ禍にあって子どもといることがつらくなって一時保育を利用するケースもあり、一時保育の存在意義は大きいと感じている。
	2	保護者にとってニーズの高い事業です。
	3	引き続き、支援をお願いしたい。
	4	ニーズは大きいと思うので、環境の整備・維持を期待します。
	5	預かる側(幼稚園・保育園)への支援なども充実していくとより良いと感じます。

事業名	④妊産婦・新生児等訪問事業	
第2回会議後 総合評価(案)	<p>・専門職員が直接家庭訪問し育児に対する不安の解消や子育てを行う上での情報提供を行っており、生後間もない家庭にとって大変有意義な事業となっている。</p> <p>・引き続き、支援を必要とする家庭の早期把握と継続的な支援が適切に行えるよう職員体制の確保に努めるとともに、事業をより効果的に行えるよう、母子手帳交付時の面接との連携や訪問時の相談・支援の質の向上に取り組まれたい。</p>	
委員意見	1	コロナ禍と育児不安の中で訪問は大変だったことと思います。こうした時期だからこそ孤立しないよう訪問の大切さがあると思う。地域の保育園、子育て支援につなげてほしい。
	2	コロナ禍においての出産、育児について、心配、不安の多い妊婦さんです。引き続き、きめ細かい充実したケア、支援事業を行ってください。
	3	コロナ禍で不安に思う母子にとって、助けになってほしいと思う。
	4	引き続き、支援をお願いしたい。
	5	妊産婦の方の安心につながる取り組みを今後も期待します。

事業名	⑤養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業	
第2回会議後総合評価(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・養育支援訪問の件数が増加し、計画値を上回る実績となっている。コロナ禍による社会情勢の変化もあり、事業の重要性がより一層増していると考えられる。 ・実績の増加要因を分析しながら、今後も関係機関との連携により家庭環境の把握に努め、早期に適切な対応をとられたい。また、対応においては高い専門性が必要となることや、ニーズの増加を考慮し、支援する職員の体制についても充実に努められたい。 	
委員意見	1	関係諸機関の連携をより深めていかれればと思います。
	2	やはり、コロナ禍との関連で生活困窮等も増え、ますます支援が増えていくことと思う。保育園としても相談事業等市と協力して行っていきたい。
	3	社会情勢の変化により重要な事業です。
	4	コロナ禍で不安に思う母子にとって、助けになってほしいと思う。
	5	児童福祉法に基づく関連機関との連携を深め、出来る支援(活動)を行っていただきたい。
	6	今後の維持・拡充を期待します。

事業名	⑥ファミリーサポートセンター事業	
第2回会議後総合評価(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化が進む中、子育て家庭を地域で支え合う重要な事業となっている。一方で、依頼会員数と支援会員及び両方会員数を比較すると、支援者の不足や負担の増加が懸念されることから、今後も支援会員及び両方会員の増員などにより、支援者の負担軽減を図るべく、周知の充実など積極的な取り組みが望まれる。 	
委員意見	1	周知の充実の積極的な取り組みを望みます。
	2	周知の充実を望みます。
	3	引き続き、支援をお願いしたい。
	4	今後の維持・拡充を期待します。
	5	預けたい人は積極的に預け先を探すが、預かる側のことはなかなか自分から情報を集めることがないと思うので、預かる・サポートする活動があることがもっと広まってほしい。(支援者は誰でも良いということではなく、安心してお願いできる方が良いので、中学校や高校のPTAと連携して保護者に紹介するとか……。)

事業名	⑧延長保育事業	
第2回会議後総合評価(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育を実施している保育所の在園児童について、すべての世帯の保護者の就労時間等の要件に合わせて必要な保育が実施されたことは高く評価できる。 ・共働き世帯の増加に伴い今後も高いニーズが見込まれるため、引き続き、サービス提供体制の確保と充実に取り組むよう努められたい。 	
委員意見	1	共働き世帯の増加に伴い、引き続きの取り組みを望みます。
	2	引き続き、支援をお願いしたい。
	3	今後の維持・拡充を期待します。

事業名	⑨病児保育事業	
第2回会議後 総合評価(案)	・核家族化のなかで共働き家庭を支える重要な事業であり、実施施設が3か所となりサービスの提供体制が充実したことを評価する。引き続き、女性の就業率の高まりや、働き方の多様化に伴う保育ニーズに対応できるよう、実施施設や実施場所等、事業の充実について検討が期待される。	
委員意見	1	共働き家庭には欠かせない事業であるので、場所や定員の拡充がもう少し出来るとよいと思う。
	2	安心して任せられるような「保育の質の向上」を検討課題に入れて欲しい。
	3	共働き世帯を支える重要な事業です。
	4	引き続き、支援をお願いしたい。
	5	今後の維持・拡充を期待します。

事業名	⑩放課後児童クラブ事業	
第2回会議後 総合評価(案)	・入会児童数が増加し続けている中、継続して待機児童ゼロを達成していること、また、新型コロナウイルス感染症対策による学校の一斉臨時休業時の受け入れを迅速に行ったことを高く評価する。今後も入会を希望する児童全てを受け入れるため、受け入れ体制の整備に努めるとともに、保育の質の向上のため、各種研修会への参加を積極的に行うなど、支援員の資質・能力の向上を図られたい。 ・障がいのある児童など特別な配慮を必要とする入会児童が増加しており、一人ひとりの児童が適切な支援を受けられ、安心して過ごすことができる環境を整えることが求められている中で、心理士による児童クラブ巡回による支援を行ったことは評価できる。引き続き、支援の専門性の向上を図ることや、幼稚園、保育園などの関係機関との連携を強化する取り組みを進められたい。	
委員意見	1	休校での受け入れが早かったのは良いが、先生方への安全の確保にも、もっと配慮して欲しいです。
	2	保育園、幼稚園と学校・放課後児童クラブが連携して子どもたちが過ごしやすく、指導員が子どもと関わりやすくできるようにしていきたい。
	3	重要な事業です。課題はたくさんありますが、引き続き充実した取り組みを望みます。
	4	引き続き、支援をお願いしたい。
	5	今後の維持・拡充を期待します。
	6	保護者としては、評価するというより、感謝するという想いです。

事業名	⑪妊婦健康診査	
第2回会議後 総合評価(案)	・対象者数については見込みを上回る実績であり、引き続き事業の周知を図り、妊婦の健康の保持増進及び経済的負担の軽減が図られるよう努められたい。	
委員意見	1	妊婦の健康の保持のため、引き続き事業の増進を望みます。
	2	引き続き、支援をお願いしたい。
	3	今後の維持・拡充を期待します。

その他意見	各委員の意見を真摯に受け止めていただいております。委員として感謝しております。 子ども・子育て支援事業に関しましては(大和市は)内容的にも量的確保から質的充実へとシフトしていることは素晴らしいと思います。行政の予算の許す限り、未来の大和を担う子どもたちへの充実した支援事業の展開を期待します。コロナ終息後には、また”地域力＝母親力”向上への活動に、微力ながらがんばりたいと思っております。	
-------	---	--